



千年も前に開かれたとされる平泉寺の大門市が今年もオープンしました。地場産の野菜などがとても人気です。

地のもんいっぱい！
平泉寺大門市始まる
■4月14日 平泉寺区



春らしいおだやかな天気にも恵まれ、第4回勝山城清明茶会が開催されました。日本庭園では、桜の下で野点も行われました。

時代絵巻のような
第4回勝山城清明茶会
■4月18日 勝山城博物館



勝山市農業公社は、遊休農地の有効活用のために、市内3地区に市民農園を整備しました。この農地を非農家のかたに貸し出していきます。

勝山で初めて！
市民農園が開園しました
■4月24日 浄土寺区ほか



本年度のわがまちげんき発展事業の助成金額を決める公開審査が行われ、22団体のうち17団体に満額助成をすることになりました。

わがまちげんき発展事業審査会
新たなまちづくりをめざして
■4月25日 すこやか



新入生代表の五十嵐あやかさん

一人ひとりの心に刻みこんで 勝山南高校最後の1年生入学

県立高校再編により、2011年度開校予定の総合産業高校に統合される勝山南高校に、4月1日、最後の1年生73人が入学しました。

船木繁樹校長が「誰よりも学校を好きになり、一人ひとりの心に勝山南高校を刻んでほしい。」とあいさつ。続いて新入生代表の五十嵐あやかさんが「目標を持って学業に励み、自己の向上に努めます。」と誓いました。



あいにくの雨の中、今年も平泉寺区民120人と、市職員などのボランティア60人が参加し、境内の落ち葉や枝を回収しました。

ボランティアと協働で
平泉寺春の二斉清掃
■4月11日 平泉寺区



市の無形文化財でもある走りやんこが、今年も長山公園までまちなかを駆け抜けました。

まちなかを疾走！
走りやんこ開催
■4月13日 勝山地区



▲昨年のスピーチコンテストの様子。心に残った新聞記事を紹介しています



▲生徒会執行部のみなさん。前列左から原崎康子さん、泉川智亮さん、五十嵐泰智さん。後列左から道林愛莉さん、小山愛琳さん。

あわてず、ゆっくり進んでいこう 南部中の花壇が大賞に！

学校花壇づくりを通じて子どもたちの情操をはぐくみ、周辺の環境美化に貢献するフラワー・ブラボー・コンクール（県、県教委、中日新聞、日刊県民福井主催）で、最優秀の大賞に南部中学校が選ばれました。

花壇のデザインは「レインボーいも虫」。「あわてず、あせらず、ゆっくりと前進していく」というイメージで、昨年の秋から花壇づくりを行い、虹のような色鮮やかなイモムシを表現しました。

花壇の世話をしてきた環境美化委員長の宝珍貴史さん（3年）は「予想以上の大雪だったので、花壇がつぶれないようにするのが大変でしたが、前任の環境美化委員をはじめ、皆さんのおかげで大賞をとることができて嬉しいです。」と話しました。



▲フラワー・ブラボー・コンクールで大賞に選ばれた春花壇「レインボーいも虫」と勝山南部中学校のみなさん

新聞記事でコミュニケーションを 北部中がHAPPYNEWS2009全国表彰

北部中学校が昨年行った、新聞記事を利用した全校スピーチコンテストの取り組みが、「HAPPYNEWS2009」（日本新聞協会主催）で、学校賞に選ばれました。

同校は、5年前からコミュニケーション能力を高める取り組みをしており、新聞を教育に取り入れてから3年目。

指導に当たった道関直哉教諭は、「大変な名誉で喜んでいる。生徒たちにも新聞を読む習慣が付き、意識が高まっている。」と話しました。

生徒会執行部の泉川智亮生徒会長（3年）は「両親とニュースについて話し合うようになった。」、原崎康子副会長（3年）は、「スポーツ面をよく読んでいたが、奥越方面の記事も読むようになった。」と話した。

今年は、生徒たちが選んだ記事を持ち帰り、家庭で話し合ってもらおう「ファミリーフォーカス」に取り組むそうで、生徒会執行部も放送委員会と協力し、全校生徒に広めていくとのこと。